

2020年5月29日

報道関係者 各位

武田薬品工業株式会社から臨床試験に用いる iPS細胞由来 CAR-T細胞の製造を受託しました

公益財団法人京都大学 iPS 細胞研究財団（所在地：京都市左京区）は、本日、武田薬品工業株式会社（本社：大阪府中央区。以下「武田薬品」という。）から、当財団の保有する iPS 細胞ストックを原料とした iPS 細胞由来キメラ抗原受容体(CAR)遺伝子改変 T (CAR-T) 細胞 (iCART) の製造を受託する契約を締結しました。

CAR-T 療法は、免疫細胞の一種である T 細胞の遺伝子を特定のがん細胞を認識して破壊することができるように改変して用いる免疫療法の一つです。従来の自家 CAR-T 療法は、患者さんの血液から採取した T 細胞を遺伝子改変して投与するため、治療開始までに長い時間がかかります。

iCART 療法は、京都大学 iPS 細胞研究所（所在地：京都市左京区、以下「CiRA」(サイラ)）と武田薬品の共同研究プログラムである T-CiRA において CiRA の金子 新（かねこ しん）准教授をリーダーとする金子プロジェクトから 2019 年に武田薬品に継承された研究成果を元に、武田薬品の研究チームが開発した製造法を用いて、iPS 細胞マスターセルバンクから均一な CAR-T を大量生産・ストックすることで、治療が必要な患者さんへの迅速な提供を可能とするものです。金子 新准教授は現在も武田薬品のアドバイザーとして本プログラムに参画しております。今回の臨床試験に用いる iCART の製造は、これらの研究成果に基づき財団の細胞調製施設 (FiT) において実施します。

京都大学 iPS 細胞研究財団は、産学と連携し、本製品を含む iPS 細胞を用いた再生医療が一日も早く医療現場に提供されるよう、取り組んでいきます。

公益財団法人京都大学 iPS 細胞研究財団 (CiRA_F) について

京都大学 iPS 細胞研究財団 (CiRA_F) は、最適な iPS 細胞技術を良心的な価格で届けることを理念として掲げ、2020 年 4 月に、国立大学法人京都大学から独立して活動を開始した公益財団法人です。CiRA_F は、京都大学 iPS 細胞研究所 (CiRA) が 2013 年度から実施してきた再生医療用 iPS 細胞ストックプロジェクトについて、事業譲渡を受け、引き続き推進しています。このプロジェクトでは、HLA (ヒト白血球型抗原) 型を、ホモ接合体 (免疫拒絶反応が起きにくい組み合わせ) で持つ健康なドナーから iPS 細胞を作製し、あらかじめ様々な品質評価を行った上で、再生医療に使用可能と判断できる iPS 細胞株をア

カデミア・企業等の皆様に提供しています。CiRA_F は、iPS 細胞を用いた製品の製造、品質評価、保管等の受託や、製造に関する SOP の公開等に取り組み、再生医療の実用化に貢献します。

武田薬品工業株式会社について

武田薬品工業株式会社は、日本に本社を置き、自らの経営の基本精神に基づき患者さんを中心に考えるというバリュー（価値観）を根幹とする、グローバルな研究開発型のバイオ医薬品のリーディングカンパニーです。武田薬品のミッションは、優れた医薬品の創出を通じて人々の健康と医療の未来に貢献することです。研究開発においては、オンコロジー（がん）、消化器系疾患、希少疾患およびニューロサイエンス（神経精神疾患）の 4 つの疾患領域に重点的に取り組むとともに、血漿分画製剤およびワクチンにも注力しています。武田薬品は、研究開発能力の強化ならびにパートナーシップを推し進め、強固かつ多様なモダリティ（創薬手法）のパイプラインを構築することにより、革新的な医薬品を開発し、人々の人生を豊かにする新たな治療選択肢をお届けします。武田薬品は、約 80 の国および地域で、医療関係者の皆さんとともに、患者さんの生活の質の向上に貢献できるよう活動しています。

詳細については、<https://www.takeda.com/jp/>をご覧ください。

お問合せ先：

公益財団法人京都大学 iPS 細胞研究財団（CiRA_F） 企画推進室

TEL: 075-761-3363

Email: promotion-g@cira-foundation.or.jp